令和元年度　学校評価結果の概要について

青森県立八戸第二養護学校

１　集計方法について

アンケートの集計については、集計後に経年経過を把握するため過去３年間の状況と学部での比較として資料１と資料２－１、２－２、保護者、教職員の比較として資料３、自由記述（全文）を資料４として作成した。なお、本文中の自由記述については項目分けし、内容を要約した形にして掲載した。

アンケートの回収率
・保護者全体で９８．５％（小９７％、中１００％）
・教職員　１００％

２　結果について

（１）保護者の結果　〈資料１「学校評価に関する保護者アンケート」参照〉

今年度、新たに、自立と社会参加に関する指導についての項目を追加した。

「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせると、１６設問中１２の設問において、９０％以上の評価、８０％以上では１４設問の評価を得た。が相対的に低い評価だった設問は、設問７「進路情報の提供」の８１％と設問９「継続した指導」６９％であるが、この２つの項目については、「分からない」と回答する傾向が見られた。この２つについては今後の課題となる。

（２）教職員の結果　〈資料２－１、２－２「学校評価（教職員用）」参照〉

今年度、新たに、働き方改革についての項目を追加した。

「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせると、３４設問中３１設問において、８０％以上の評価を得ている。さらに３４設問のうち２２設問については９０％以上になっている。逆に、８０％未満の設問は３設問で、学校経営に関する設問１７「働き方改革」７０％、教育活動に関する設問１「継続した指導」７８％、設問８「キャリア教育」７９％であった。

今年度、学部での比較をしたが、１０の項目で１０％以上の開きがある項目があり、学部によって評価の違いが見られた。また、「継続した指導」については、保護者のアンケート同様に両学部ともに低い傾向が見られた。各学部の課題としては、小学部が「危機管理」、中学部が「働き方改革」という点で改善が必要となる。

（３）保護者と教職員の結果の比較

〈資料３「保護者と教職員の結果の比較」参照〉

保護者と教職員では、設問が同一ではないが、同じような内容の設問の評価を比較してみると、大きな差となった設問は、「進路情報の提供」、「継続し

た指導」、新たに設けられた「自立と社会参加」であった。前の２つについては、ここ数年ほぼ同じ傾向が見られている。

設　　問	保護者	教職員
教育目標の設定	９７％	９８％
分かりやすい授業	９６％	９９％
子供たちの活動の情報提供	９６％	８３％
話し合う時間の確保	９２％	９３％
子供たちの不安や悩みへの対応	８９％	９４％
子供たちの健康管理や安全	９６％	９６％
進路等の情報提供	８１％	９５％
個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成	９５％	９７％
継続した指導	６９％	７８％
適切な行事の設定	９６％	９２％
適切な個人情報の扱い	９４％	１００％
専門性を生かした指導	９０％	８８％
事故防止	９７％	９８％
会計処理	９７％	９８％
★自立と社会参加の指導（今年度、新設）	９１％	７９％

（４）自由記述　※保護者及び教職員の自由記述から主だった内容をまとめた。

＜保護者＞

① 子供の指導に関する内容
- 教師の子供との関わり方や対応について

② 家庭、施設との連携に関する内容
- 連絡帳でのお知らせや学習活動の様子について
- 家庭や施設との情報交換について

③ その他
- アンケート内に評価ができない設問について
- 就学奨励費の支給日のお知らせについて
- 年間行事予定表の改善について

＜教職員＞

① 学校経営について
- 指導の関係書類の整理
- 施設設備の改善
- 会議の精選と効率的な設定
- 職員情報共有機器の効果的な活用と情報整理
- バス添乗の見直しと休憩時間の扱い
- 職場内の働き方改革

・定時退勤日の変更
・職員への周知について

② 教育活動について
・指導内容の改善、日課の見直し

３　考　察

「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせて８０％以上の高い評価になっている設問が、保護者で１６設問中１２設問、教職員で３４設問中３１設問であった。今年度の成果の課題については以下のとおりである。

（１）保護者のアンケートから

・設問１「教育目標」、設問１３「事故防止」、設問１４「諸会費の処理」については、比較的高い評価であるため、今後も引き続きよりよい評価が続くよう努力していく必要がある。
・設問７「進路の情報提供」と設問９「継続した指導」については、全体的にも評価が低いため、今後、情報提供の在り方を検討し改善していく。
・上記の２つについては「分からない」という評価が多い傾向にあるため、設問も含め、評価できるように改善していく。

（２）教職員のアンケートから

・個人情報の保護については、引き続き適切な管理体制を維持していく。
・設問１－１７「働き方改革」については、今一度見直しについて検討し、改善が進められるようにする。
・設問２－１「継続した指導」については、適切な引き継ぎと継続的な指導が円滑に進められるよう、再度学校・学部で共通理解を図って進める。
・キャリア教育についても、小中学部で系統的に指導が進められるよう、学部・分掌で連携しながら取り組むようにする。

（３）保護者と教職員の比較から

・「子供たちの不安や悩みの対応」や「進路情報」については、保護者の理解と納得が得られるよう、方法について検討し改善を進める。
・「継続した指導」についても、十分な引き継ぎを行い、円滑な指導の積み重ねが進められるようにする。

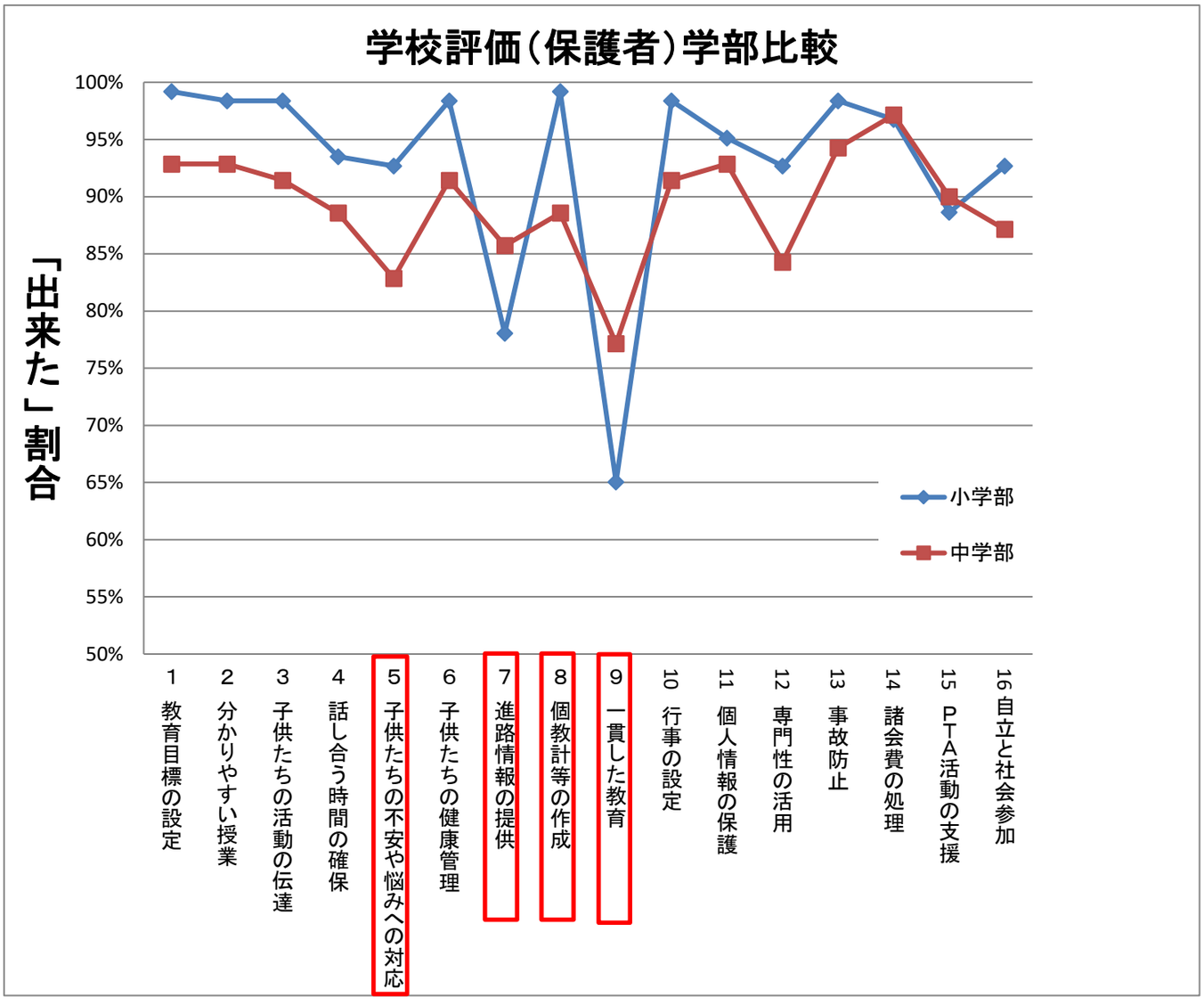
（４）今後の課題

・教員間、児童生徒、保護者、関係機関とのコミュニケーションの充実
・的確な実態把握と必要なニーズの理解
・目標を達成させるための、学校（組織）としてのチームワーク

資料1

令和元年度学校評価（保護者）集計結果

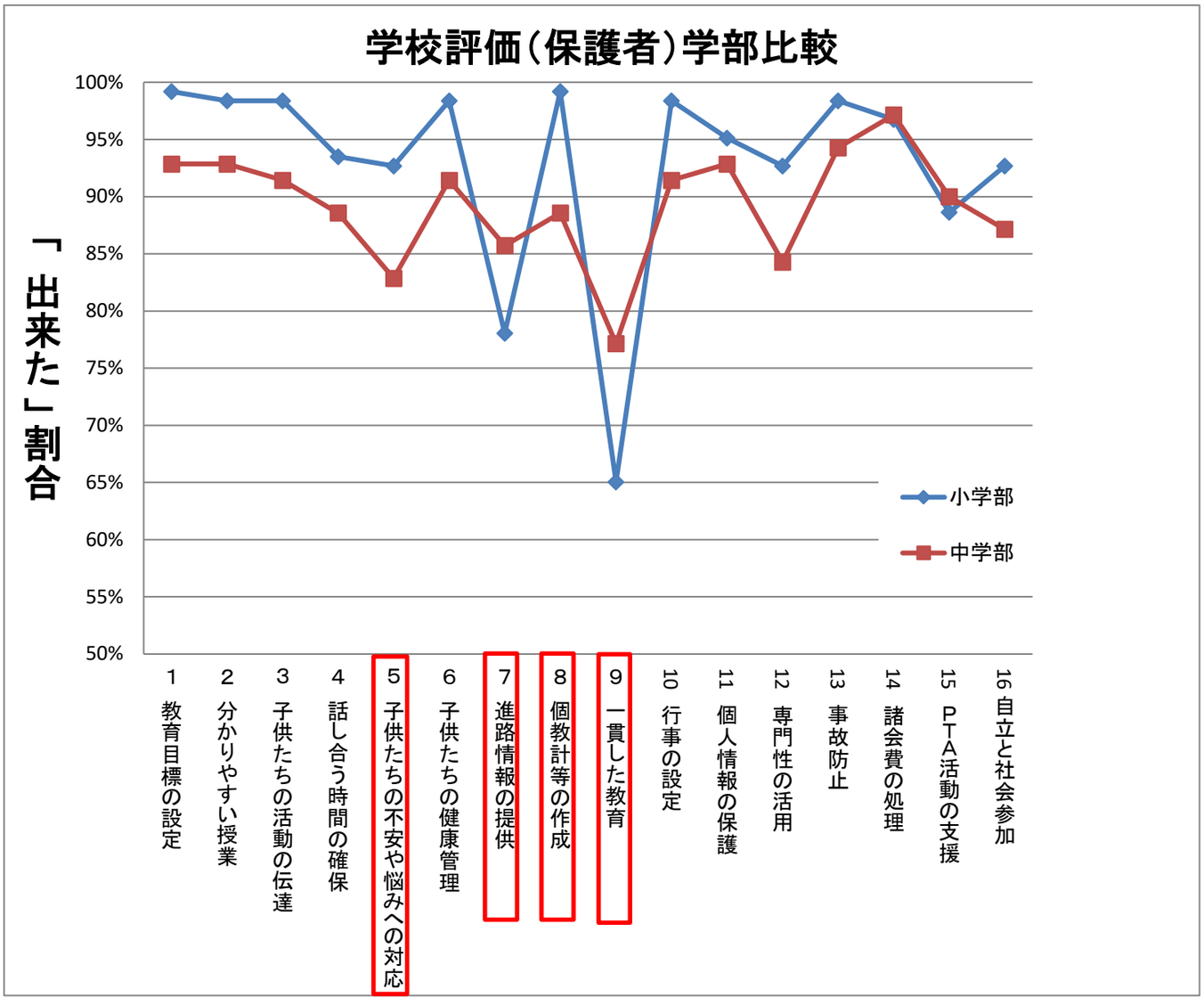
	評　価　項　目	小学部（123） よく出来ている・大体出来ている	小学部（123） わからない	中学部（70） よく出来ている・大体出来ている	中学部（70） わからない	「出来ている」の経年経過（よく出来ている＋大体出来ている） R1年度	H30年度	H29年度
1	学校は、子ども一人一人に合った教育目標を立てている。	99%	0%	93%	1%	97%	97%	96%
2	学校は、わかりやすい授業づくりや楽しい学校生活にするための工夫をしている。	98%	0%	93%	3%	96%	97%	97%
3	学校は、話し合いや連絡帳、各種お知らせなどをとおして、子どもたちの活動の様子を十分に伝えている。	98%	0%	91%	0%	96%	98%	95%
4	学校は、保護者と話し合う時間を十分設けている。	93%	2%	89%	0%	92%	93%	93%
5	学校は、子どもたちの不安や悩みなどに対応している。	93%	6%	83%	7%	89%	91%	88%
6	学校は、子どもたちの健康管理や安全に注意を払っている。	98%	0%	91%	3%	96%	96%	96%
7	学校は、進路に関する情報や特別支援教育に関する情報など、保護者が必要とする情報を提供している。	78%	11%	86%	3%	81%	93%	85%
8	学校は、保護者や子どもの願いや意向を十分に踏まえて「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成している。	99%	1%	89%	1%	95%	97%	97%
9	学校は、小学部、中学部と指導について適切な引き継ぎを行い、継続した指導や積み重ねをした教育を行っている。	65%	31%	77%	9%	69%	91%	60%
10	学校は、行事の内容や時期などを適切に設定している。	98%	2%	91%	3%	96%	96%	96%
11	学校は、子どもたちの個人情報について、プライバシーを侵したり、不利益を与えたりしないよう、その取り扱いに注意している。	95%	4%	93%	4%	94%	96%	94%
12	学校は、子どもたちに特別支援教育についての専門性のある知識や経験を生かした指導をしている。	93%	5%	84%	7%	90%	89%	87%
13	学校は、事故防止に努め、非常災害時や事故発生時には、速やかに対応できるようにしている。	98%	2%	94%	3%	97%	95%	95%
14	学校は、諸会費などを適正に処理し、保護者に正確に伝えている。	97%	2%	97%	1%	97%	99%	99%
15	学校は、PTA関連の行事や委員会活動が充実するように支援している。	89%	9%	90%	6%	89%	95%	84%
16	学校は、将来を見据えて日常生活、自立や社会参加に関する指導をしている。	93%	7%	87%	4%	91%		


学校評価（保護者）学部比較
「出来た」割合
100%
95%
90%
85%
80%
75%
70%
65%
60%
55%
50%
小学部
中学部
1 教育目標の設定
2 分かりやすい授業
3 子供たちの活動の伝達
4 話し合う時間の確保
5 子供たちの不安や悩みへの対応
6 子供たちの健康管理
7 進路情報の提供
8 個教計等の作成
9 一貫した教育
10 行事の設定
11 個人情報の保護
12 専門性の活用
13 事故防止
14 諸会費の処理
15 PTA活動の支援
16 自立と社会参加

資料1

令和元年度学校評価（保護者）集計結果

	評　価　項　目	よく出来ている・大体出来ている	わからない	よく出来ている・大体出来ている	わからない	「出来ている」の経年経過（よく出来ている＋大体出来ている）		
		小学部（123）		中学部（70）		R1年度	H30年度	H29年度
1	学校は、子ども一人一人に合った教育目標を立てている。	99%	0%	93%	1%	97%	97%	96%
2	学校は、わかりやすい授業づくりや楽しい学校生活にするための工夫をしている。	98%	0%	93%	3%	96%	97%	97%
3	学校は、話し合いや連絡帳、各種お知らせなどをとおして、子どもたちの活動の様子を十分に伝えている。	98%	0%	91%	0%	96%	98%	95%
4	学校は、保護者と話し合う時間を十分設けている。	93%	2%	89%	0%	92%	93%	93%
5	学校は、子どもたちの不安や悩みなどに対応している。	93%	6%	83%	7%	89%	91%	88%
6	学校は、子どもたちの健康管理や安全に注意を払っている。	98%	0%	91%	3%	96%	96%	96%
7	学校は、進路に関する情報や特別支援教育に関する情報など、保護者が必要とする情報を提供している。	78%	11%	86%	3%	81%	93%	85%
8	学校は、保護者や子どもの願いや意向を十分に踏まえて「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成している。	99%	1%	89%	1%	95%	97%	97%
9	学校は、小学部、中学部と指導について適切な引き継ぎを行い、継続した指導や積み重ねをした教育を行っている。	65%	31%	77%	9%	69%	91%	60%
10	学校は、行事の内容や時期などを適切に設定している。	98%	2%	91%	3%	96%	96%	96%
11	学校は、子どもたちの個人情報について、プライバシーを侵したり、不利益を与えたりしないよう、その取り扱いに注意している。	95%	4%	93%	4%	94%	96%	94%
12	学校は、子どもたちに特別支援教育についての専門性のある知識や経験を生かした指導をしている。	93%	5%	84%	7%	90%	89%	87%
13	学校は、事故防止に努め、非常災害時や事故発生時には、速やかに対応できるようにしている。	98%	2%	94%	3%	97%	95%	95%
14	学校は、諸会費などを適正に処理し、保護者に正確に伝えている。	97%	2%	97%	1%	97%	99%	99%
15	学校は、PTA関連の行事や委員会活動が充実するように支援している。	89%	9%	90%	6%	89%	95%	84%
16	学校は、将来を見据えて日常生活、自立や社会参加に関する指導をしている。	93%	7%	87%	4%	91%		

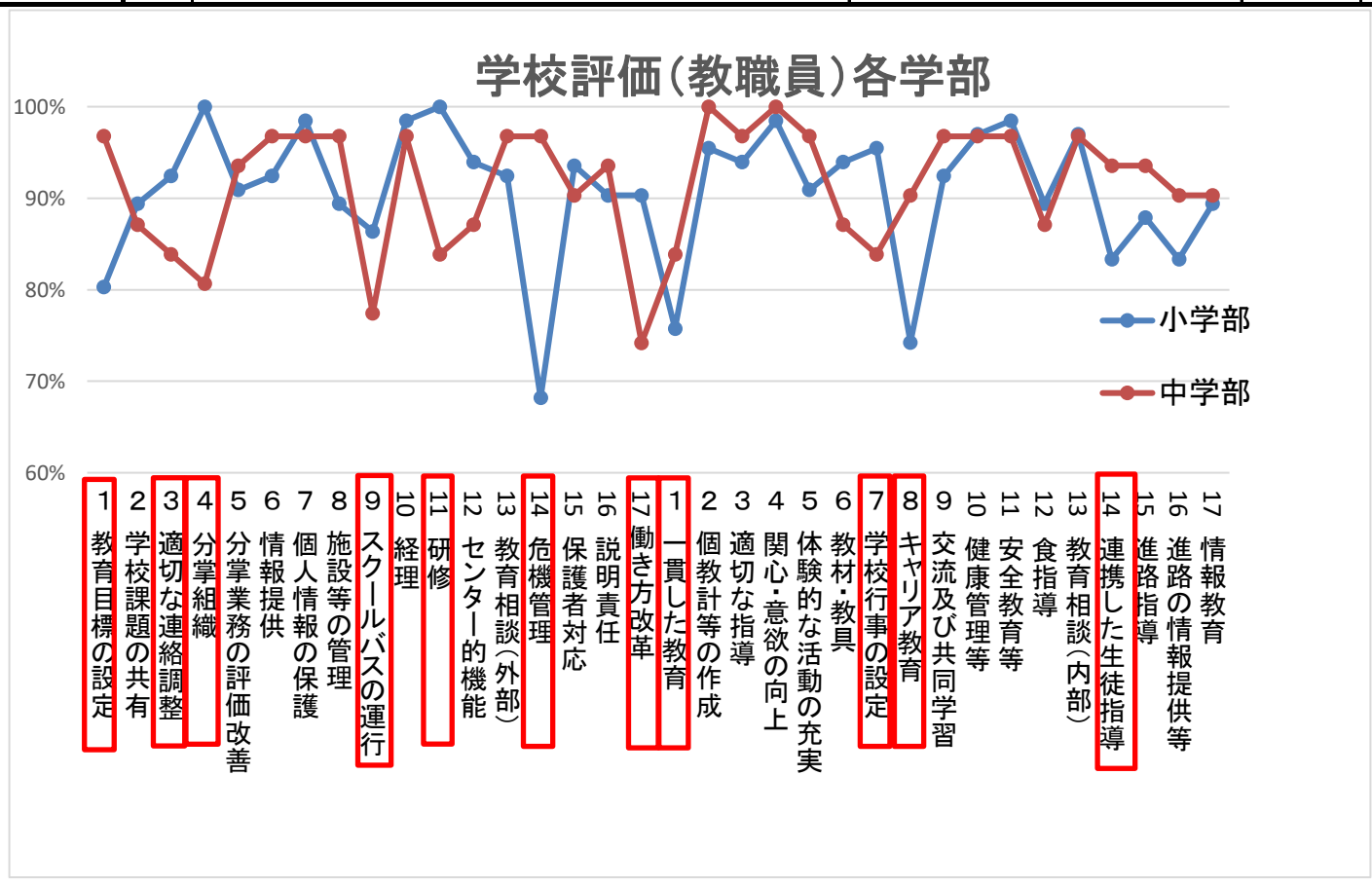

学校評価（保護者）学部比較
「出来た」割合
100%
95%
90%
85%
80%
75%
70%
65%
60%
55%
50%
小学部
中学部
1 教育目標の設定
2 分かりやすい授業
3 子供たちの活動の伝達
4 話し合う時間の確保
5 子供たちの不安や悩みへの対応
6 子供たちの健康管理
7 進路情報の提供
8 個教計等の作成
9 一貫した教育
10 行事の設定
11 個人情報の保護
12 専門性の活用
13 事故防止
14 諸会費の処理
15 PTA活動の支援
16 自立と社会参加

令和元年度学校評価（教職員）集計結果（各学部比較）
～学校経営（組織とその機能）・教育活動（教育課程）に関して～

資料2－2

項　目		評　価　項　目		小学部	中学部
教育課程	1	児童生徒や学校・地域の実態に応じた教育目標を設定している。	1　教育目標の設定	80%	97%
	2	学校課題が、職員間で共通理解され、達成に向けた取り組みを行っている。	2　学校課題の共有	89%	87%
組織運営	3	学部および分掌間の連絡・調整が十分に図られ、効率的な教育活動を行っている。	3　適切な連絡調整	92%	84%
	4	分掌組織は、年齢や経験等のバランスがとれ、適材・適所となっている。	4　分掌組織	100%	81%
	5	各分掌の活動の資料や記録を適切に整理し、活動内容の評価を行い、改善・充実を図っている。	5　分掌業務の評価改善	91%	94%
情報・文書	6	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や児童生徒・保護者へ知らせている。	6　情報提供	92%	97%
	7	児童生徒の個人情報については、プライバシーを侵したり、不利益を与えたりしないよう、その取り扱いに注意している。	7　個人情報の保護	98%	97%
施設・設備	8	施設・設備(備品含)は適切に点検、管理している。	8　施設等の管理	89%	97%
	9	スクールバスの運行については、職員の介助体制は適切であり、安全面に十分配慮している。	9　スクールバスの運行	86%	77%
経理	10	学校・学級等の経理を適正に処理し、関係書類を適切に保管している。	10　経理	98%	97%
研究・研修	11	教育公務員としての専門性を高め、職責を遂行するため、教職員は積極的に校内外の研修に参加している。	11　研修	100%	84%
教育相談関係機関との連携	12	特別支援教育のセンター的機能について、教職員が共通理解をし、その体制を整えている。	12　センター的機能	94%	87%
	13	相談者のニーズに応じた教育相談や就学相談を実施している。	13　教育相談（外部）	92%	97%
危機管理	14	非常災害や学校事故発生時における対応マニュアルを作成し、教職員が共通理解をしている。	14　危機管理	68%	97%
家庭・地域との連携	15	保護者と話し合う時間を十分設定している。	15　保護者対応	94%	90%
	16	教育目標や教育課程、達成状況等、保護者・関係者に説明責任を果たしている。	16　説明責任	90%	94%
働き方改革	17	働きやすい職場になるよう学校全体で業務を見直し改善を図っている。	17 働き方改革	90%	74%
教育課程	1	小･中･高/福祉施設等に前年度の学習内容や支援等について適切な引き継ぎを行い、継続した指導や学習を積み重ねる教育を行っている。	1　一貫した教育	76%	84%
	2	一人一人の教育的ニーズを把握し、適切に「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成している。	2　個教計等の作成	95%	100%
教科・領域等の指導	3	発達段階、障害の状況に応じた指導に努めている。	3　適切な指導	94%	97%

教科・領域等の指導	4	児童生徒が興味関心のある内容を取り上げることで、学習意欲を高め、自発的な活動を促し、成就感が得られるように努めている。	4　関心・意欲の向上	98%	100%
	5	生活力を育むため、体験的な学習の充実に努めている。	5　体験的な活動の充実	91%	97%
	6	児童生徒の実態に合わせた教材・教具を積極的に作成したり、活用したりしている。	6　教材・教具	94%	87%
	7	児童生徒が主体的・積極的に活動できるように、学校行事の内容、時期等に配慮している。	7　学校行事の設定	95%	84%
キャリア教育	8	学校全体で将来を見据えた日常生活や進路に関する指導やキャリア教育を進めている。	8　キャリア教育	74%	90%
交流教育	9	交流の意義やねらいについて理解し、児童生徒の実態に応じた内容を設定している。	9　交流及び共同学習	92%	97%
保健・安全給食指導	10	児童生徒の個々の健康について把握し、けがや事故・病気等の対応を適切に行っている。	10　健康管理等	97%	97%
	11	児童生徒や学校の実態に即した安全指導計画を作成し、交通安全教育や防災教育を計画的に実施している。	11　安全教育等	98%	97%
	12	食に関する指導を適切に実施している。	12　食指導	89%	87%
教育相談	13	家庭や関係機関との連携を図り、相談者のニーズに応じた就学相談や教育相談を実施している。	13　教育相談（内部）	97%	97%
	14	児童生徒や学校・地域の実態を踏まえた生徒指導計画を作成し、教職員が協力して指導できる体制を整備している。	14　連携した生徒指導	83%	94%
進路指導	15	児童生徒及び保護者の希望や意向を反映した個に応じた進路指導を計画・実践している。	15　進路指導	88%	94%
	16	進路指導に関わる相談、情報・資料等の提供を進めるとともに、個人面談などをとおして保護者との連携を深めることに努めている。	16　進路の情報提供等	83%	90%
情報教育	17	児童生徒の特性に応じたICT機器や教材教具を工夫・整備し、活用している。	17　情報教育	89%	90%



資料2-1

令和元年度学校評価（教職員）集計結果
～学校経営（組織とその機能）に関して～

項　目		評　価　項　目	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	「出来ている」の経年経過（よく出来ている＋大体出来ている） R1年度	H30年度	H29年度
教育課程	1	児童生徒や学校・地域の実態に応じた教育目標を設定している。	27%	71%	1%	1%	98%	99%	99%
	2	学校課題が、職員間で共通理解され、達成に向けた取り組みを行っている。	13%	70%	14%	2%	84%	84%	87%
組織運営	3	学部および分掌間の連絡・調整が十分に図られ、効率的な教育活動を行っている。	12%	68%	19%	1%	80%	84%	87%
	4	分掌組織は、年齢や経験等のバランスがとれ、適材・適所となっている。	11%	69%	16%	3%	80%	80%	75%
	5	各分掌の活動の資料や記録を適切に整理し、活動内容の評価を行い、改善・充実を図っている。	15%	75%	7%	2%	91%	98%	93%
情報･文書	6	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や児童生徒・保護者へ知らせている。	18%	76%	4%	2%	94%	94%	86%
	7	児童生徒の個人情報については、プライバシーを侵したり、不利益を与えたりしないよう、その取り扱いに注意している。	62%	38%	0%	0%	100%	100%	100%
施設･設備	8	施設・設備（備品含）は適切に点検、管理している。	26%	67%	7%	0%	93%	89%	94%
	9	スクールバスの運行については、職員の介助体制は適切であり、安全面に十分配慮している。	28%	60%	11%	1%	88%	92%	90%
経理	10	学校・学級等の経理を適正に処理し、関係書類を適切に保管している。	52%	46%	2%	0%	98%	98%	100%
研究･研修	11	教育公務員としての専門性を高め、職責を遂行するため、教職員は積極的に校内外の研修に参加している。	24%	64%	11%	1%	88%	86%	77%
教育相談関係機関との連携	12	特別支援教育のセンター的機能について、教職員が共通理解をし、その体制を整えている。	19%	68%	12%	1%	87%	90%	89%
	13	相談者のニーズに応じた教育相談や就学相談を実施している。	36%	62%	1%	1%	98%	100%	98%
危機管理	14	非常災害や学校事故発生時における対応マニュアルを作成し、教職員が共通理解をしている。	32%	67%	1%	0%	99%	97%	95%
家庭･地域との連携	15	保護者と話し合う時間を十分設定している。	24%	69%	4%	3%	93%	97%	96%
	16	教育目標や教育課程、達成状況等、保護者・関係者に説明責任を果たしている。	26%	67%	6%	1%	93%	99%	95%
働き方改革	17	働きやすい職場になるよう学校全体で業務を見直し改善を図っている。	15%	55%	27%	3%	70%		

令和元年度学校評価（教職員）集計結果
～教育活動（教育課程）に関して～

項　目		評　価　項　目	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	「出来ている」の経年経過（よく出来ている＋大体出来ている） R1年度	H30年度	H29年度
教育課程	1	小･中･高/福祉施設等に前年度の学習内容や支援等について適切な引き継ぎを行い、継続した指導や学習を積み重ねる教育を行っている。	10%	68%	20%	1%	78%	78%	70%
	2	一人一人の教育的ニーズを把握し、適切に「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成している。	31%	66%	2%	3%	97%	93%	98%
教科･領域等の指導	3	発達段階、障害の状況に応じた指導に努めている。	25%	70%	4%	0%	95%	94%	93%
	4	児童生徒が興味関心のある内容を取り上げることで、学習意欲を高め、自発的な活動を促し、成就感が得られるように努めている。	26%	73%	0%	2%	99%	98%	98%
	5	生活力を育むため、体験的な学習の充実に努めている。	26%	67%	6%	1%	93%	96%	92%
	6	児童生徒の実態に合わせた教材・教具を積極的に作成したり、活用したりしている。	22%	70%	7%	1%	92%	94%	92%
	7	児童生徒が主体的･積極的に活動できるように、学校行事の内容、時期等に配慮している。	16%	75%	8%	1%	92%	91%	89%
キャリア教育	8	学校全体で将来を見据えた日常生活や進路に関する指導やキャリア教育を進めている。	15%	64%	20%	1%	79%	77%	74%
交流教育	9	交流の意義やねらいについて理解し、児童生徒の実態に応じた内容を設定している。	21%	73%	5%	1%	94%	95%	89%
保健･安全給食指導	10	児童生徒の個々の健康について把握し、けがや事故･病気等の対応を適切に行っている。	39%	58%	2%	0%	97%	99%	100%
	11	児童生徒や学校の実態に即した安全指導計画を作成し、交通安全教育や防災教育を計画的に実施している。	32%	66%	2%	1%	98%	98%	98%
	12	食に関する指導を適切に実施している。	21%	68%	10%	1%	89%	90%	88%
教育相談	13	家庭や関係機関との連携を図り、相談者のニーズに応じた就学相談や教育相談を実施している。	27%	70%	2%	1%	97%	99%	94%
	14	児童生徒や学校･地域の実態を踏まえた生徒指導計画を作成し、教職員が協力して指導できる体制を整備している。	21%	66%	12%	0%	87%	91%	92%
進路指導	15	児童生徒及び保護者の希望や意向を反映した個に応じた進路指導を計画・実践している。	22%	68%	8%	1%	90%	94%	95%
	16	進路指導に関わる相談、情報･資料等の提供を進めるとともに、個人面談などをとおして保護者との連携を深めることに努めている。	24%	62%	12%	1%	86%	96%	93%
情報教育	17	児童生徒の特性に応じたＩＣＴ機器や教材教具を工夫・整備し、活用している。	21%	69%	10%	1%	90%	85%	83%

資料3

令和元年度学校評価（保護者と教職員の結果の比較）

※設問が同一ではないが、同じような内容の設問の評価を比較

	評　価　項　目	保護者	教職員
1	教育目標の設定	97%	98%
2	分かりやすい授業	96%	99%
3	子供たちの活動の伝達	96%	93%
4	話し合う時間の確保	92%	93%
5	子供たちの不安や悩みへの対応	89%	94%
6	子供たちの健康管理	96%	96%
7	進路情報の提供	81%	95%
8	個別の教育支援計画等の作成	95%	97%
9	継続した指導や積み重ね（旧「一貫した教育」）	69%	78%
10	行事の設定	96%	92%
11	個人情報の保護	94%	100%
12	専門性の活用	90%	88%
13	事故防止	97%	98%
14	諸会費の処理	97%	98%
15	自立と社会参加を目指した指導	91%	79%